

## セルフモニタリング報告書(令和4年度分)

令和5年 8月 4日

施設名 苦小牧市大成児童センター  
 指定管理者名 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団  
 所管課名 健康こども部青少年課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
<b>1 事業計画の達成度</b>		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	<p>事業計画は利用者がより楽しく、また利用したいと思ってもらえるよう作成しています。ニーズや社会情勢により思っていたように実施することが出来なかった行事などもありましたが、可能な限り計画に沿った運営が出来ていたと思います。</p> <p>前年度先送りとなったラインを使った周知活動も青少年課との協議を重ねたうえスタートすることが出来、少しずつ登録者も増え、効果が出てきています。大型エア遊具やトランポリン、子ども食堂の実施など、大成児童センターの特徴的な事業が広く周知され、それを楽しみにする利用者も多かったです。概ね計画の意図は達成されていると思います。</p>	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	<p>利用者数は減少し、数値目標を達成することは出来ませんでした。しかしながら近隣児童数の減少（大成小児童数 11.2%減）に比べ小学生利用者の減少率（6.1%）は約半分程度となっており、相対的な利用率は上昇していると考えています。</p> <p>ライン登録によって利用者へ直接お知らせをお届けできるようになりました。これにより遠方の利用者が情報を得やすくなったことと、行事参加申し込みを電話で受け付け可能にしたことにより、幼児保護者等に対して利便性の向上も図れました。</p>	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。	/	A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	自主事業計画書にて提出した事業に関しては、一部内容を変更したものを除き、計画通り行えた	Ⓐ・B・C・D・E

	<p>と考えています。大成児童センター特有の事業として続けてきた子ども食堂に関しても、これを楽しみに遠方から参加する親子がいるなど、広く周知もされてきました。</p> <p>これまでは小学生限定で年1回行っていた宿泊行事は今年初めて2回実施し、うち1回を中学校3年生限定で卒業前の思いで作りとして開催しました。このように計画書に記載した以外にも数多くの行事を企画・開催し、計画以上の事業を行いました。</p>	
<p>地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。</p>	<p>周囲を市営団地に囲まれている当館では、各棟の掲示板にセンター便りを掲示しています。その際、より見やすくするための色塗りは毎月2回、地域の高齢者グループがボランティアで担ってくれています。また、センターまつりでは近隣高校ボランティア局との新しい連携も生まれ、行事内容の幅が広がりました。特筆すべきは積雪の多い時に、地域の方が重機による除雪をしてくれたことで、日ごろの地域との良好な関係があったことと考えています。</p> <p>これまでに引き続き、小学校生徒指導部との連携は継続しており、毎月のスタッフ会議で児童の相互理解と対応を深めています。</p>	<p>㊦・B・C・D・E</p>
<p><b>2. 利用者の満足度</b></p>		
<p>利用者の満足が得られているか。</p>	<p>これまでも利用者様の高い評価を頂いていましたが、今年度の利用者アンケート結果では満足とやや満足の回答が全体の99.1%となり、変わらずの高水準を維持できました。</p> <p>アンケートの自由記入欄からも行事に対する期待や職員への信用・信頼が見られ、今後もそれらの声に応えられるよう努めていきます。</p>	<p>㊦・B・C・D・E</p>
<p>利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。</p>	<p>児童との対話・面談に時間を費やし、把握してきました。開所以来初の中学生向け宿泊行事の実施は、中高生座談会の場で出た意見・要望に耳を傾けた結果のものでした。</p> <p>保護者に対しても必ず挨拶以外の会話をすることを重要視し、児童のみならず保護者本人の悩みを聞くことで児童健全育成の助けとなるよう心掛けています。利用者相談内容は記録し、昨年度と同様に180件以上となりました。</p>	<p>㊦・B・C・D・E</p>

<p>利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。</p>	<p>意見・要望に関してはスタッフ全員が口頭や日誌によって必ず共有しています。そのうえで可能な限り迅速に協議し、時には青少年課の御意見を参考にさせていただきながら対応しています。今年度は保護者からの要望により、乳児の授乳機会を確保するために子育て室に専用カーテンの取り付けを行いました。</p> <p>苦情に関しても同様な対応を取りますが、利用者・保護者とのコミュニケーションを大切に、館内で起こったことは逐次連絡をして理解を求めたことで、今年度は大きな苦情も無く終えることが出来ました。</p>	<p>Ⓐ・B・C・D・E</p>
<p><b>3 管理運営の効率性</b></p>		
<p>経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。</p>	<p>開所以来9年が経過し、駐車スペースの白線など補修が必要な箇所が多々ありましたが、その多くを職員の手で補修し、経費の低減に努めました。また、近隣住民から敷地内のカラスの巣作りの危険性を伝えられた際にも、撤去を業者に依頼せず、卵や雛が無い事を確認したうえで自前で撤去し、経費を抑えました。</p> <p>必要な備品の入れ替えは費用対効果を考えて決定し、さらに相見積を基に本部稟議をかけ、無駄な支出の無いようにしています。</p> <p>電気料金の高騰を考えた今まで以上にこまめな消灯や充電電池の使用、草刈りや除雪などを業者に依頼せず極力職員の手によって行う等、多角的に考えて経費の削減を行っています。</p>	<p>Ⓐ・B・C・D・E</p>
<p>一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。</p>	<p>外部委託業者時は全て地元業者で適切な水準を保っています。</p> <p>不定期に必要な廃棄物の処理は職員が直接沼ノ端クリーンセンターに運搬しています。経費を最小限に抑える努力をしています。</p>	<p>Ⓐ・B・C・D・E</p>
<p>収入増加のための取組はされているか。</p>	<p>今年度も当館指定日以外の貸し館申請が多かったが、シフト変更によって対応し、少しでも収入が増加するよう努力しました。</p> <p>センター祭りの外販売では、メニューを見直して売り上げを増やすことも出来ました。世相によりカフェこそ実施をしませんでしたが、お絵かき講座の画材を持ち帰りにすることで参加費を頂くようにする等、収入増加のための取り組みを行</p>	<p>Ⓐ・B・C・D・E</p>

	いました。	
<b>4 適正な管理運営</b>		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	<p>退職者が出た際はすぐに人員を補充していることや、業務内容に関しても各スタッフの健康状態や個々の事情に配慮しながら働きやすい環境整備を行っています。</p> <p>しかしながら、仕様書に定められている人員配置を一部満たしていない実態があり、適正な運営の実施ができていませんでした。</p>	A・B・C・D・ <b>Ⓔ</b>
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	<p>事業計画書に記載以上の研修を行いました。単独・少人数で受講した講習は資料を全スタッフで共有し、受講者の説明を加えることで職員の能力向上に努めました。</p> <p>職員のうち1名が放課後児童支援員認定資格研修を予定していましたが、関係機関との連携がうまくいかず、受講できなかったことは改善点として残りました。</p>	A・ <b>Ⓑ</b> ・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む）。	<p>ホームページやライン広報により、遠方からの利用者が増加したことは、広く平等に市民に周知された結果であると思います。</p> <p>また、市内各幼児保育施設から遠足時の雨天代替場所として多くの問い合わせがあったことも、大型エア遊具設置とその広報が功を奏した結果であり、個々が安全で自由に遊べる場所としての施設の役割に新しい可能性を見せたものと考えています。</p>	<b>Ⓐ</b> ・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	<p>個人情報に記載されている書類は鍵のかかるロッカーに保管し、そのカギをさらに保管ボックスにて施錠管理（二重施錠管理）しています。</p> <p>新聞等に写真や記事が掲載される場合は保護者に確認を取り、内容をチェックの上許可するようにしています。</p>	<b>Ⓐ</b> ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	<p>小口口座における物品の購入には逐次2人以上のチェックを行い、金銭事故の防止に努めています。本部管理の経理システムに入力を行うことで適正な収支を保っています。</p>	<b>Ⓐ</b> ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	<p>法定点検は外部業者に委託しています。</p> <p>日常の館内保守点検に関しては、毎日スタッフが点検表に沿って行き、利用者に安心・安全に使用してもらえよう努めています。</p>	<b>Ⓐ</b> ・B・C・D・E

書類・備品等の管理は適正に行われているか。	<p>二重施錠管理している書類以外も年度・項目ごとにファイリングし、保管庫において管理しています。備品においても故障・破損・補充について青少年課に速やかに報告し、適正に管理しています。</p> <p>労務関係の書類について一部未作成となっており、適正に管理が行われていない実態がありました。</p>	A・B・C・(D)・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	<p>職員はリスクマネジメントに関する研修を受講し、館内の日常点検で危険物・破損物などを除去しています。</p> <p>児童が遊戯室で運動する際は、状況を見て学年を分けるなどして万一の際も大きな怪我に繋がらないよう見守っています。</p> <p>コロナ対策に関してもマスクの着用や消毒・換気を徹底指導し、児童のマスクが破れた際にはセンター備蓄の物を渡すこととしていました。これら対応により当館を原因とした感染をゼロにすることが出来たと考えています。</p> <p>一方で、職員の適正配置ができていなかったことにより、結果的に館内の安全対策が十分ではない時間帯がありました。</p>	A・B・C・(D)・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	中高生タイムや日常的な開館時間中の人員配置について、一部仕様書で定められた配置基準を満たしていない部分がありました。	A・B・C・D・(E)
<b>5 地域貢献</b>		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	<p>資材調達や外部委託は可能な限り地元業者をお願いしています。</p> <p>雇用に関しては全スタッフが苫小牧在住だけでなく、館内清掃員の募集を周囲の市営団地掲示板に貼りだし、結果としてすぐに1名の清掃員が決まり、地域の就労支援にも繋がりました。</p>	(A)・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

## 自己評価 ★★☆☆☆

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

### 指定管理者の自己評価(全体を通して)

ここ数年悩まされてきたコロナに関しては随分と落ち着きましたが、決して影響が無くなったわけではありません。今年度初めて職員1名にコロナ感染がありましたが、出勤後の微熱段階ですぐに常備している検査キットを使用、結果は微妙だったものの万一のことを考えてすぐに帰宅させ、すぐに館内を消毒するなどして、感染の拡大防止に努めました。利用者保護者に対しては適切なマスク準備・着用をプリントでお願いし、衛生面・安全面に注意しました。

利用者実数が目標に達していないことに関して、企画書提出の時点でここまでの児童数減少が予想できなかったことがあります。これを補うためにより魅力的な行事を企画し、それをSNS(ライン)で発信すること等で利便性を増し、今まで利用の無かった遠方の利用者が当センターを利用するきっかけとしてきました。効果は少しずつ現れ、全体的な利用者数の減少を最低限にとどめることが出来たと思います。

利用者満足度に関しても昨年度はアンケートの「満足・やや満足」の回答が98.8%だったことからこれ以上の評価は難しいと言われていましたが、行事・広報や申し込み方法の工夫、日頃から利用者・保護者に対してきめ細やかな対応を心がけ、小さな要望にも真摯に向き合った結果、同様の回答が99.1%とさらに高い評価を得ることが出来ました。

昨年のモニタリングの際、外部委託業者との契約更新についての指摘を受けました。今年度は各業者に連絡を取って契約書の見直しを行い、指摘された問題についてはクリアしました。一方で仕様書に定められている人員配置については、定められている基準を満たしていない部分がありました。

当センターの運営も9年目、次年度は移転後10周年となります。この2年間で1つの区切り・集大成と捉え、職員一同力を合わせて管理運営をしていきます。そのためにも、改めて法令・協定書・仕様書の内容を遵守し、事業計画を日頃から意識し、それに則した運営を心がけ、さらに自主事業を充実させることで施設の設置目的の達成を目指していきます。